

除草剤

ゼータタイガーフロアブル

プロピリスルフロン・ブロモブチド・ペントキサゾン水和剤

平成30年11月21日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

- ・作物名「移植水稻」の使用方法「原液湛水散布、水口施用又は無人ヘリコプターによる滴下」を「原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下」に変更する。
- ・作物名「直播水稻」を追加する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケシ ヘラサカ ミズガヤツリ ウリカ エノハサカ オモガ クダマ コキガ シズイ ヒムソ セリ アミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ バエ3葉期 ただし、 移植後30日 まで	500mL /10a	1回	原液湛水 散布、 水口施用 又は 無人 航空機 による 滴下	2回以内	2回以内	2回以内
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケシ ミズガヤツリ ウリカ ヒムソ セリ アミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ バエ3葉期 ただし、 収穫90日前 まで			原液湛水 散布 又は 無人 航空機 による 滴下			

次頁へ続く

前頁より続く

使用上の注意事項の変更

【変更前】

- ・本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにすること。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカは3葉期まで、ミズガヤツリは4葉期まで、ヒルムシロは発定期まで、セリは再生前から再生始期まで、エゾノサヤヌカグサ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発定期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。
- ・本剤を無人ヘリコプターで滴下する場合は次の注意を守ること。
 - 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないこと。
 - 作業中、薬液が漏れないように装置の十分な点検を行うこと。
 - 隣接する圃場に水稻以外の作物が栽培されている場合は無人ヘリコプターによる本剤の滴下は行わないこと。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分留意すること。
 - 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
 - 本剤の滴下に使用した無人ヘリコプターの散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
- ・散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- ・無人ヘリコプターによる滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。

【変更後】

- ・本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにすること。ホタルイ、ウリカワ（ただし、直播水稻は2葉期まで）、ヘラオモダカは3葉期まで、ミズガヤツリは4葉期まで（ただし、直播水稻は3葉期まで）、ヒルムシロは発定期まで、セリは再生前から再生始期まで、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発定期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。（変更）
- ・本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ること。
 - 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないこと。
 - 作業中、薬液が漏れないように装置の十分な点検を行うこと。
 - 隣接する圃場に水稻以外の作物が栽培されている場合は無人航空機による本剤の滴下は行わないこと。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分留意すること。
 - 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
 - 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。（変更）
- ・使用後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、使用後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。（変更）
- ・稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。（追加）
- ・無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。（変更）

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社